

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十四回

會議

大正十五年二月二十日(土曜日)午前十時十九分開議

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

來栖 七郎君

堀切善兵衛君

竹内友治郎君

星島 二郎君

沼田嘉一郎君

佐々木平次郎君

倉元 要一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 片岡 直温君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主税局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工參典官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工省鑛山局長 三井 末松君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 只今ヨリ關稅定率法中

改正法律案委員會ヲ開キマス、前日ニ

引續イテ第十四類ノ質問ヲ開始致シマ

ス、昨日御要求ノアッタ外務省ノ政府委

員ガ出席シテ居リマスカラ、其御考デ

御質問相成ルヤウニ致シタイ——岩切

君

○岩切委員 第十四類ハ何處デモ宜イ

ノデスカ

○加藤委員長 四百六十二ガ通告ガア

ルノデスカ……

○岩切委員 四百六十二ハ關稅法中最

モ是ハ重要ナル案デアリマシテ、特ニ

當局ノ懇切ナル説明ト、御答辯ヲ願ヒ

タイト思フノデアリマス、大體論ト致

シマシテ、銑鐵並ニ鋼材ニ對シマスル

關稅ハ、從來世間ニ於テ營業者ガ最モ

熱心ニ希望致シマシタ、其程度マデニ

ハ引上ゲテナイ、殊ニ銑鐵ハ、關稅ニ於

テハ保護政策ヲ採ラナイ事ニナツテ居

ルヤウニ見受ケルノデアリマス、是ハ

本會議ニ於テ相當大臣カラ一應ノ説明

ハアリマシタケレドモ、ソレハ極メテ

御坐ナリノ、形式的ノ答辯デアリマシ

テ、内容ニ立チ入ッタ詳細ナル御答辯ハ

聽ク事ヲ得ナカッタノデアリマス、言フ

マデモナク銑鐵ハ、國防上或ハ内地生

産業ノ上ニ於テ、ドウシテモ此際我國

トシテ其確立シタ政策ヲ執ッテ行カナケ

レバナラス、我國ノ現狀カラ願ミ、又東

洋全體ヲ打ッテ一丸トシタ、我國ノ立場

カラ考ヘテ、鐵ノ自給自足ト云フ事ガ

出來ナイト云フノデアレバ、自ラ政策

モ變ラナケレバナラヌケレドモ、當業

者竝ニ専門家ノ調査ニ依リマシテモ、

我國ニ於キマスル鐵ハ、鋼材トシテ内

地ニ八千萬噸モアリ、朝鮮ニ於テモ一

億二三千萬噸アル、滿洲ノ三億萬噸ト

合セテ、五億萬噸以上ノモノガアッテ、

其中ノ四十「パーセント」ガ假ニ銑鐵ト

シテ製出サレルト致シマシテモ、將來

我國ノ百年、乃至百年以上ノ需要ヲ十

分保ツ事ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ狀

況ニ在ルノデアリマスカラ、此際政府

ハ鐵ニ對スル十分、ソレコソ自主獨往

ト申シマスカ、我國ノ自給自足ノ出來

ル途ヲ立ツル事ガ、此際最モ必要ナ狀

況ニ差迫ッテ居ルノデハナイカト思フ

ノデアリマス、併ナガラ政府モ勿論此

問題ニ對シテハ、十分ニ御考慮ガアル

事トハ存ジマスケレドモ、第一吾々ノ

同ッテ置カナケレバナラヌ點ハ、銑鐵ヲ

据置ニシテ、單ニ補助政策ニ依テ不徹

底ナル案ヲ此際立テラレタト云フ事

ハ、印度ニ對スル所謂外交上ノ立場カ

ラ、内地輸出貿易ノ立場カラ是ニ到ッタ

モノト私ハ察スルノデアリマス、此點

ヲ先ヅ詳細ニ承ッテ、次ノ事ニ論及致シ

テ見タイト考ヘルノデアリマス、或ハ

外交ニ關スル事ハ、斯ウ云フ席デハ十

分話ス事ガ出來ヌト云フ事デアレバ、

秘密會デモ宜シ、其必要ハナイト云フ

事デアレバ、公開ノ席デ詳細ニ、印度ト

ノ關係ニ就キマシテ、御答辯ヲ願ヒタ

イト思フノデアリマス、先ヅ此點カラ

伺ヒマス

○堀切委員 是ハドウデス大問題デス

ガ、大臣ノ御出席ヲ一ツ願ッたら如何デ

ス

○岩切委員 私モサウ思ッテ居ルノデ

アリマスガ、外務大臣ガ見エマセヌカ

ラソレハ、後廻シニシテモ宜イト考ヘ

ルノデアリマス

○柵瀬政府委員 岩切君ノ銑鐵ニ關

スル御質問ハ、如何ニモ御尤デアリ、又

其御趣旨ニ就テハ全然御同感デアアルノ

デアリマス、併シ是ハ御質問ノ御言葉

中ニモアリマシタ通り、事少々複雑シ

タ關係モアルノデアリマスカラ、委員

諸君ガ、モウ少シ御出席ガ揃ハレマシ

テ、其上ニ外務當局カラ、ソレラノ關係

ニ就テ腹藏ナク御説明申上ゲルト云フ

事ガ御便宜ト考ヘルノデアリマス、就

マシテ、其上ニ御話ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、或ハ祕密會ヲ御要求スル事ニ至ルカモ知レナイト思ヒマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○加藤委員長 ソレデハ——橋本喜造君

○橋本委員 私ハ十四類デゴザイマスカ、宜シケレバ……

○加藤委員長 宜シウゴザイマス

○橋本委員 十四類ノ鐵ト云フ事ニ就テ御尋ヲ致シマス、第四百六十二ノ鐵

鐵、此稅率ヲ見マスルト、現行率モ改正率モ同ジニナッテ居ルヤウデアリマス

ガ、鐵ノ保護ト云フコトハ何人モ知ッテ居ルシ、又政府當局ニ於テモ、サウ云フ

御意思デアリマセウガ、鋼ノ原料デア

ル鐵鐵ガ其儘デアルト云フコトハ何か

他ニ御成案ガアルヤウニ私ハ考マスル

ガ、若シ御成案デモアリマスレバ、御知

ラセテ願ヒタウゴザイマス

○柵瀨政府委員 是ハ只今ノ岩切君ノ

御尋ト略似寄ッテ御質問ト思ヒマス、

此鐵鐵ノ事ニ關シテハ、日本ノ生産狀

況、現行率ノ關係、其他輸入鐵鐵ニ對ス

ル事柄、總テ關聯シテ居ルノデアリマ

スカラ、矢張岩切君ニ御答申上ゲマシ

タ通り、外交ニモ關係スルコトデアリ

マスルノデ、其詳細ナ事ハ大臣ノ出席

ヲ求ムルト云フ御要求モアリマスカ

ラ、其上デ御話申上ゲマス、詰リ其時一

括シテ御答申上ゲタ方ガ、議事ノ進行

上便宜デアルト思ヒマスカラ、ソレマデ留保シテ戴キタイ

○橋本委員 只今柵瀨政務次官ノ御言

葉ヲ諒ト致シマス、鐵鐵ノミデナク四

百六十二ノ中デ、他ニ御尋申シタイモ

ノモアリマスガ、ソレモ矢張留保スル

コトニ致シマセウカ、柵瀨サンニ伺ヒ

マス

○柵瀨政府委員 四百六十二ハ、鋼材

ニ關係シタ分デアリマシタナラバ、是ハ

別個ニ御尋下サイマシテ宜シウゴザイ

マス、鐵鐵ニ關スル事ダケ留保シタイ

○加藤委員長 柵瀨政務次官ニ要求致

シマスガ、大臣ノ出席マデト云フコト

デアリマスガ、大臣ノ出席ヲ直グシテ

費ッタラドウデスカ

○柵瀨政府委員 ソレデハ左様ニ致シ

マス

○加藤委員長 橋本君ハ鐵鐵ノ外ニ御

質問ガアリマシタラドウゾ……

○橋本委員 四百六十二ノ七ノ「リ

ドワイヤ」ト云フノガアリマス、是ハ從

來一割五分ノ關稅デアリマシタガ、今

度ノ關稅定率デハ從價ノ五分ト云フコ

トニナッテ居リマスルガ、要スルニ一割

減ゼラレテ居リマス、ドウ云フヤウナ

御理由ニ依テ之ヲ減ゼラレタノデアリ

マスカ、ソレヲ承リタイ

○三井鑛山局長 只今ノ橋本サンノ御

質問ニ御答致シマス、此「リドワイ

ヤ」ハ本邦ニ於キマシテハ主トシテ機

織ノ器具ニ使ヒマス、戰前迄ハ總テ外

國品デ、内地デハ生産ガ無カッタノデア

リマスガ、戰爭中カラ此生産ヲスルコ

トガ出來ルヤウニナリマシテ、大正七

年頃デアリマスガ、大阪ノ長谷川商店

ガ之ヲヤルコトニナリマシテ、相當

有利ノ事業デアルト云フコトヲ認メマ

シテ、隨テ其後大正十二年大正十三年

ニ於テハ、是ガ相當内地ニ於テモ生産

サレルヤウニナッタノデアリマス、然ル

ニ此關稅改正ノ當時ニ當リマシテ取調

ベマシタ所ニ依リマスルト、我國ノ生

産ハ、十三年度ニ於キマシテハ約二十

一萬圓ニ達シテ居リマシテ、輸入ハ大

正十三年度ガ十三萬圓、斯ウナッテ居

マス、十四年度ニ至リマシテ内地ノ生

産高ハ二十三萬圓バカリニナリマシ

テ、輸入ハ七萬六千圓位ニ減ッテ居リ

マス、其輸入ノ價額ト、内地ノ生産ノ狀

況ヲ見マスルト、丁度十一年ノ後半、十

二年ノ前半ニ於キマシテハ相當ニ輸入價

額ガ高クナッテ居リマスガ、現行稅率デ

殆ド百斤九十圓ニ上リマス價格ニナッ

テ居リマス、然ルニ内地ノ生産費ハ比

トドワイヤ」ヲ一割五分カラ五分ニ引

下ゲルト、ドウ云フ影響ニナルカト云フ

コトヲ能ク調ベマシタ、サウ致シマス

ルト一割八分ニ原料ヲ上ゲマシテ、「リ

ドワイヤ」ハ五分ニ下ゲマシテモ、尙

ホ輸入價格ト内地生産價格トノ間ニ相

當ノ餘リガアル、ソレデハ一面ニ於

テハ「ワイヤロッド」ノ如キハマダ本當

ニ十分ノ生産ガアリマセヌノデ、之ヲ

保護スル爲ニハ相當稅ヲ上ゲル必要ヲ

認メマスシ、又「リドワイヤ」ニ付キ

マシテハ、只今モ申上ゲマス通り内地

ノ生産費ト、外國カラ輸入スル價格ト

云フモノヲ對比致シマシテ、十分ソコ

ニ開キガアルコトヲ認メマシテ、何等

營業者ニ影響ヲ及ボサナイト云フ考ヲ

以テ左様ニ致シタノデアリマス、其後

關稅定率法ガ發表サレマシテ、當局ノ

方ニモ色々陳情等ガアルヤウデゴザイ

マスケレドモ、只今申シマスルヤウチ

次第デ、是ガ爲ニ内地産業ガ打撃ヲ被

ルト云フヤウナコトハアリマセヌ、矢

張「リドワイヤ」ハ相當ニ發達シテ居

リ、相當有利ノ事業デアッテ、五分ニ引

下ゲテモ大丈夫ト云フ見地カラ致シタ

モノデアリマス

○橋本委員 只今三井政府委員ノ御答

辯デゴザイマシテ、略諒致シマシタ、

但シ最後ノ御言葉ガ、此事業ハ既ニ相

當發達シテ居リ、關稅ヲ下ゲテモ差支

ヘナイヤウニ思フト云フヤウナ御言葉

デアリマシタガ、マダ三井サンハ實際

工場ヲ御調ニナツテ居ラヌコトト思ヒマス、更ニ今一度能ク御調査下サイマシテ、果シテドノ位マデ此「リトドワイヤ」ノ製造工業ガ進ンデ居ルカ、ドノ位ノ能力ヲ持ツテ居ルカ、ドノ程度マデ進歩シテ居ルカト云フコトヲ御調ニナツタ上デ御發表ガ願ヒタイ——幸ニ只今商工大臣ノ御臨席ヲ願ツテ光榮ニ存ジマス、私ノ御尋致シマスノハ四百六十二ノ甲、銑鐵デアリマス、御承知ノ通り是ハ總テノ鐵、總テノ鋼ノ原料デアル所ノ鐵デアリマス、銑鐵ノ自給自足ト云フ言葉ハ今始マッタモノデナク、何人モ知ツテ居ルコトデアリマス、殊ニ商工大臣ハ大變此點ニ御留意セラレマシテ、常ニ之ニ考慮ヲ拂ハレテ居ルコトハ私モ疾ク承知シテ居ルデアリマス、此問題ニ付テハ、一週間以上モ八幡ニ御滞在ニナツタト云フ程、鐵ノコトハ詳シク御調べニナリ、同時ニ八幡製鐵所ヲ如何ニ維持經營發展サスカニ付テモ多大ノ考慮ヲ拂ハレテ居ルヤウデアリマス、此稅番ヲ見マスト、現行稅率ハ百斤ニ付テ十錢、改正稅率モ百斤ニ付テ十錢ト云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フコトヲ致シマシテ、鐵ノ自給自足、鐵ノ獎勵ト云フモノガ出來ルノデアリマセウカ、之ニ付テハ何カ外ニ御意見デモアルヤウニ思ヒマスガ、幸ニ何カ御意デモアリマスレバ、此際御發表願ヒタイト存ジマス

○片岡國務大臣 只今ノ御質問ハ、我

國製鐵事業ノ上ニ於キマシテ、極メテ重大ナル關係ヲ有スル御質問ト存ジマス、一通リノ説明ハ一向苦シクゴザイマセヌガ、是ハ非常ニ復雜ナ關係ヲ有スル問題デアリマスカラ、寧ロ祕密會トシテ相互胸襟ヲ開イテ話ラシタ方ガ能ク徹底スルカト思ヒマスガ如何デアリマスカ

○加藤委員長 ソレデハ是ヨリ祕密會ニ致シマス

〔午前十時四十五分祕密會ニ入ル〕

〔午後零時十分祕密會ノ儘散會〕

大正十五年二月二十日印刷

大正十五年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社